

教育委員会の所管事務に係る
自己点検・評価報告書
(平成 29 年度事業分)

平成 30 年 11 月

西海市教育委員会

目 次

I	教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について	1 ~ 2
II	学識経験者における所見	3 ~ 9
III	自己点検・評価一覧表	
1	教育委員会の活動状況について	10 ~ 13
2	教育委員会が管理・執行する事務について	14 ~ 20
3	教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について	
1.	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	
(1)	能力や個性を伸ばす教育の推進	22 ~ 25
(2)	豊かな心のふるさとを学ぶ教育の推進	26 ~ 30
(3)	健康で安全な学校生活の実現	31 ~ 35
(4)	教職員の資質の向上	35 ~ 37
(5)	幼児教育の推進	37 ~ 38
2.	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進	
(1)	学習環境の充実	39 ~ 43
(2)	公民館活動の活性化	43 ~ 45
(3)	人権・同和教育の推進	45 ~ 46
3.	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	
(1)	家庭の教育力の向上	47 ~ 48
(2)	青少年の健全育成	48 ~ 51
4.	安心して学べる教育環境の構築	
(1)	安心して望ましい教育環境の実現	52 ~ 53
(2)	安全で快適な教育施設の整備	54 ~ 57
5.	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	
(1)	文化・芸術活動の推進	58 ~ 59
(2)	文化財の保存・保護・活用	59 ~ 61
(3)	活力あるスポーツの振興	62 ~ 65
(4)	スポーツ環境の充実	66 ~ 67

I 教育委員会の所管事務に係る自己点検・評価について

点検評価の概要

教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第 26 条の規定により、毎年、教育に関して学識経験者の知見を活用し、その権限に属する事務（教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成することになっています。

そこで、西海市教育委員会においては、平成 29 年度における所管事務について、西海市教育振興基本計画の施策体系に沿って、自己点検及び評価を行い、その報告書を作成しました。

外部評価者の意見

点検・評価に伴う学識経験者の知見の活用にあたっては、次の 2 名の外部評価者より各分野に関して、所見をいただきました。

有川 政秀 氏（長崎県教育会 常務理事）

岩永 嘉人 氏（長崎県青少年育成県民会議 事務局長）

評価基準

各施策の評価にあたっては、次の評価基準により A から D のランク付けを行いました。

ランク	評 価 基 準
A	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は目的水準以上であることから、今後も積極的に施策を推進していく。
B	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業がある。今後も概ね現行の方法、手法等により推進していく。
C	施策の目的、目標を達成するため、各種事業に取り組んでいる。施策の成果は一部未達成の事業もある。今後は、課題等を踏まえ、事業の対象や手法について見直しを図りながら展開していく。
D	施策の目的、目標を達成するための課題が多く、各種事業に取り組めないでいる。大幅な事業の見直しを図る。

教育委員会の取組み

教育委員の活動に関しましては、委員が可能な限り研修会へ参加するなど、課題・検討事項の解決、研究に積極的に取り組みました。「開かれた教育委員会」を目指し、委員会審議内容の情報公開や情報発信により、積極的に説明責任を果たす必要があり、そのための活動内容の充実や情報発信方法の検討が必要であると考えております。引き続き、教育委員会ホームページに会議開催予定及び議事録を公開するなど、効果的な情報発信に努めてまいります。

一方、教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務に関しては、西海市教育方針及びこれに基づく西海市教育振興基本計画の精神並びに施策に沿いながらも、しっかりと市民のニーズに応えているかを検証しつつ、重要事業、優先事業の重点化した取組を行うべきであると考えています。

最後に、平成 28 年度に策定された第二期西海市教育振興基本計画の目標達成のためにもこれまで同様 P D C A (Plan-Do-Check-Action) サイクルの実践を重視しながら、本市教育行政の一層の充実を図ってまいります。

平成 3 0 年 1 1 月

西海市教育委員会

Ⅱ 学識経験者による所見

(有川 政秀 氏)

西海市教育委員会が平成 29 年度の所管事務について行った、自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず、総評として、「第二期西海市教育振興基本計画」に則った初年度（平成 29 年度）の自己点検・評価報告書に目を通し、計画で示された施策の実践が、既に一定の成果を上げていることを感じます。これは、関係者が、明確に示された西海市教育方針と具現化へ向けた方策を共有し、真摯に取り組んでいる結果だと考えます。その努力に敬意を表します。

本市の取組で注目したいのは、次の 2 点です。

ひとつは、「開かれた教育課程」に象徴されるこれからの教育の在り方を踏まえた施策の設定とその取組です。もうひとつは、地理的・歴史的な本市の実態を基盤にした「教育の里づくり」の取組です。

まず、教育の今日的課題である「特別支援教育」、「英語教育」などにおいて、教職員の質的向上を目指し、既に様々な関係機関と連携し、研修会等を実施していることを高く評価します。これらは高い専門性が必要とされる領域でもあり、今後教材や教育機器などの物的環境の整備とともに、関係機関の支援を受けながら、特別支援コーディネーターや学習支援員、ALT や地域人材などの人的環境のさらなる充実を図られたい。また、「コミュニティ・スクール」の導入・実践に当たっては、地域の協力が不可欠であり、地域人材の発掘や育成が課題です。本市の教育力に期待します。

次に、「絆」の再生・強化を願う「教育の里づくり」構想です。各学校の特色に応じた「西海学」の実施や道徳教育、読書活動の充実などによる「ふるさとを学ぶ教育の推進」、地域食材を使用した学校給食・食育の充実による「健康で安全な学校生活の実現」、また、「公民館活動の活性化」、「文化財の保存・保護、活用」等々、多方面から有効な施策が講じられていることに感心します。このような学びや体験をした市民は、ふるさとに愛着を覚え、誇りを抱き、「ふるさと大好き人間」になるでしょう。町づくりは人づくりから。そして、人づくりの根幹は教育です。未来の町づくりの重責を担う教育関係者の知恵と汗に期待します。

ところで、時宜を得た、しかも特色ある施策の設定はできました。しかし、中には担当課が単独で事業展開するよりは、他課と協働して行うことでさらに効果が上がるものもあるのではないのでしょうか。例えば、地域とともにある学校「コミュニティ・スクール」の推進は、学校教育課と社会教育課の合同事業にするなどの検討をされてもよいかもしれません。また、「この施策が、他のどの施策とつながっているのか」、「そのつながった他の施策が、この施策にどのような相乗効果をもたらすのか」という視点から「PDCA サイクル」による施策の有効性を研究することも大切であると考えます。このような取組は、次期アクションプランの作成に寄与するものだと考えます。今後の本市教育行政の努力に期待します。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会事務局の執行事務（教育委員会から教育長が委任されている事務）

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 子供の学力の向上は、個々の教職員の指導力ばかりでなく、全職員による情報の共

有や共通理解によるチーム力に支えられるところが大きいと思います。学力調査の課題分析に基づいた各学校のプランや「授業実践の視点」を市内の全教師が共有し、全員が毎年1回以上の研究授業を実施しています。このように授業改革を個人レベルや自校レベルにとどめず、市内の全小・中学校が一体となって組織的に取り組んでいることを高く評価します。今後、数値化しにくい子供や教師の情意面を加味した、PDCAサイクルによる質の高い授業の追究と学力向上への取組、「授業実践の視点」の改善に期待します。

また、授業と授業をつなぐ家庭学習の重要性に着目し、家庭や生徒会と連携した小・中連携検討チームの活動は注目に値します。今後のさらなる活躍を切望します。

- 「特別支援教育の充実」と「特色ある学校づくりの推進（英語教育の推進）」については、前述したとおりです。

② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

- 地域を学習の場とし、自然や社会、人々とのふれ合い（職場体験活動、ボランティア活動、自然・社会体験活動など）を通して、道徳性や豊かな情操を養う「地域で学ぶ道徳教育」の実践は、大変効果的で興味深い取組です。また、「地域を学ぶ副教材」の編集・発行・活用は、本市の子供にとって間違いなく「郷土を誇り愛する豊かな心」を育みます。今後、さらに研究が深まることを期待します。

(2) いつでもどこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- 本市は生涯学習推進のため、各地区に関係職員を配置したり、社会教育主事や地域人材の確保・育成に努めています。また、生涯学習の拠点としての公民館を、幅広い世代にとって魅力ある学習の場として再生しようと努力していることに敬意を表します。本施策の中で注目したいのは、図書館ネットワークの構築、図書サービスの向上、ブックスタートの取組です。このような「読書活動の充実や図書館の有効活用による人づくり・町づくり」は、良き市民を育てる上で極めて重要であると考えます。読書活動や図書館の活用は、その活動や活用の仕方によって様々な学びの深まりや仲間の広がりが期待できます。今後とも継続・研究・発展されることを願います。

② 公民館活動の活性化

- 本市は集落が分散しているので、住民の学習の場・仲間づくりの場として、公立公民館が中心となっている地区と自治公民館が中心とならざるをえない地区があると考えます。公立公民館は、地域の特性を生かした講座や時代にマッチした講座などを住民に提供し、そこで学んだ人々の学習グループの育成や仲間づくりに大きく寄与するものであります。補助金を交付しているとはいえ、このことを自治公民館に期待することは難しく、地域差が出てくるのは自然ではないでしょうか。それを補い、全市民の学習の機会均等を目指すという意味で、本市が進める公民館のネットワーク化は貴重です。地域の絆が希薄になっている昨今、地域活動を提供する拠点としての公民館は、地域再生の鍵であると思います。また、公民館での学びを単に学びにとどめず、ボランティア活動や社会貢献活動へつなげたいものです。これは市民の自己肯定感や社会的有用感を育み、「教育の里づくり」の力強い応援団になるでしょう。行政や関係機関・団体がその仕掛けづくりに知恵を出し合って欲しいと思います。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 青少年の健全育成

- 将来を担う青少年の健全育成に向けて、本市が様々な施策を講じ、尽力されていることに敬意を表します。ところが、本市の昨年度事業分の報告書を見ると、県内他市町と同様、既存団体の指導者の育成に苦勞されているようです。これまでの取組を継続・工夫するとともに、少し視点を変え、「市民総ぐるみの『市民』に高校生や中学生などを加える」という発想に立って見たらどうでしょうか。つまり、彼等を支援される立場から一歩進め、彼等に支援する側の指導者意識を芽生えさせるということです。例えば、青少年の体験・交流活動を校種の枠を超えた活動にしたり、班編制を工夫したりして、上級学校や上級学年の子供たちに「指導する経験」を味わわせるのです。リーダーの育成には、このような中学、高校の早い時期での土壌づくりが大切かもしれません。

(4) 地域を支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化財の保存・保護・活用

- 地域の文化財は学校教育ばかりでなく社会教育においても、貴重な学びの素材です。子供から大人までのあらゆるライフステージでの「ふるさとを学ぶ教材」です。ふるさとの誇りを持ち、ふるさとを愛する市民を育む「教育の里づくり」の格好の教材です。文化財の保存・保護に努めるとともに、学校教育課と連携しながら、その活用をいかに図るかがこの施策をさらに価値あるものにするポイントになると考えます。今後の取組に期待します。

平成30年11月12日

有川 政秀

(岩永 嘉人氏)

西海市教育委員会が平成 29 年度の所管事務について行った自己点検及び評価に対する私の所見を述べさせていただきます。

まず、総評として、今年度策定された「第二期西海市教育振興基本計画」は平成 21 年度から平成 28 年度までの「西海市教育振興基本計画」の成果と課題を検証するとともに、現在の社会情勢や教育環境を踏まえて策定されました。「第二期西海市教育振興基本計画」は、西海市教育方針の実現に向けた具体的な取り組みが示され、これからの教育振興の指針となるものです。とはいえ、今までの西海市の教育方針を継続するのはいうまでもありません。課題解決に向け、P D C A サイクル手法による自己点検・評価に取り組むことは昨年度までと同じですが、報告書は見直され見やすく整理されています。検証が細部までおこなわれた成果だと思います。

西海市を取り巻く社会状況は本県が抱える現状と近いものがありますが、より深刻です。少子化、高齢化、価値観の多様化、高度情報化、社会のグローバル化は、子どもたちを取り巻く教育環境にも大きく影響しています。今後、「第二期西海市教育振興基本計画」をもとに、西海市の特色を活かした教育活動が実施され、教育環境の整備や教育活動への支援によって、次代を担う子どもたちの育成へと、つながることを期待しています。

以下、特に指摘しておきたい項目について所見を述べます。

1. 教育委員会の活動状況について

- 26 回の幼稚園小・中学校訪問、延べ 71 名の教育委員の出席など教育現場に積極的に関わろうとする姿勢が目を見張ります。今後はホームページの充実を図り、多くの市民に見ていただけるよう、効果的な情報発信をお願いします。

2. 教育委員会が管理・執行する事務について

- 特に問題はありません。

3. 教育委員会が管理・執行を委任する事務について

(1) 生きる力をはぐくむ学校教育の実現

① 能力や個性を伸ばす教育の推進

- 学力の向上については、教員の資質向上とわかる授業が問われています。研究授業の実施だけでなく、サポーターの育成や地域人材の活用を期待します。家庭学習時間については、今後も小・中連携検討チームの活動を充実させ家庭との連携を進めて欲しいと思います。
- 特別支援教育の充実について、特別支援教育を個性としてとらえ、学習支援員・特別支援教育補助員の配置、相談活動など高く評価します。今後もさらなる支援をお願いします。
- 大瀬戸小学校をコミュニティ・スクールもモデル校として研究しているようですが、西海市には特色ある旧町が存在します。今後、地域の独自性が問われます。

② 豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進

- 市内 18 校による研究授業の実施と授業の質の向上、体験活動に基づく道徳的実践力の推進等、充実した道徳教育が見て取れます。
- ふるさとについて、副教材による授業だけでなく、西海市の人材を掘り起こし、キャリア教育と絡めた人材の活用を期待します。それが生きた「西海学」となり、各学校の特色につながると思います。
- 図書館教育の充実には学校図書館司書の配置は不可欠です。学校図書館司書の配置だけでなく、図書館ボランティアの育成など地域との連携、人材活用が求められます。
- 不登校については、誰がどのような理由で不登校になるのか予想がつきません。現状に甘んじることなく相談体制を充実させてください。

③ 健康で安全な学校生活の実現

- 部活動指導者のための講座・実技指導は体力の向上にとどまらず子どもたちの安全教育にもつながる有効な施策だと思えます。
- 西海市は食材の宝庫です。それぞれの学校区にも名産品が数多くあります。学校給食の充実は食育にとどまらず、ふるさとを学ぶ機会となるはずで、地域の特性を活かした学校給食を目指してください。ふるさと学習にもつながるはずで、学校給食の施設等については西海市立学校給食調理場適正化基本計画に基づいた対応をお願いします。

④ 教職員の資質向上

- 教職員の資質向上のための教職員研修が充実していることを評価します。今、教職員の働き方が問われています。教職員に過度な負担にならないよう配慮し、教職員が一人ひとりの児童生徒と向き合う時間の確保をお願いします。

⑤ 幼児教育の推進

- 幼・保・小の教職員同士の情報交換は、幼・保・小連携の根幹をなす重要なことです。西海市における幼児教育の実態把握や特性をふまえて小学校へつなげてほしいと思います。

(2) いつまでも、どこでも学べる生涯学習の推進

① 学習環境の充実

- 生涯学習の推進や地域図書館の充実は、市民のニーズを知り、ニーズに応える必要があります。その後は、様々な機会を通して周知・広報に努める必要があります。西海市における家庭・学校・地域に対応した読書活動の取り組みが、成果として実を結ぶことを期待します。
- 社会教育施設については旧町からの施設を整理統合し効率化も求められます。

② 公民館活動の活性化

- 公民館活動の活性化は地域人材の活用がポイントです。そのためには、公民館職員（担当者）と地域住民をつなぐコーディネーターが必要となります。難しい課題ですが、コーディネーターとなる人材育成が必要です。

③ 人権同和教育の推進

- 地域社会や学校教育で人権・同和教育が計画的、継続的におこなわれていることや、いじめ問題を人権教育としてとらえていることに敬意を表します。いじめに関しては前述した、教職員が児童・生徒と向き合う時間の確保をお願いします。

(3) 市民総ぐるみで取り組む教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- 家庭の教育力向上の中に子育て支援を施策として取り上げたことが目を引きます。子育て支援は人間形成の核となる部分で、豊かな心の育ちを確かなものとする意味合いがあります。今後一層の創意工夫で子育て支援をサポートしてもらいたいと思います。

② 青少年の健全育成

- 日頃から県民運動である「ココロねっこ運動」の啓発活動に取り組んでいることに、西海市の風土といえる、地域力を感じます。
- 青少年の健全育成を図るにはリーダーとなる人材が鍵になります。そのために、現リーダーをサポートし次代を担うリーダーを育てなければなりません。「西海子ども夢基金」等の事業で大人のリーダー養成ができないでしょうか。
- メディアの問題は多様化低年齢化しており、その対応が急がれます。対応するためには、常にスキルアップを図る必要があります。計画的な、継続した取り組みをお願いします。

(4) 安心して学べる教育環境の構築

① 安心して望ましい教育環境の実現

- 「放課後子ども教室」や「土曜学習」が子どもたちの居場所づくりとして活用されていることを評価します。「放課後子ども教室」での取り組みは学力の向上等にもつながると思います。公的施設（公民館）や人材活用など、これからの取り組みに期待します。
- 子どもの貧困が社会問題になっています。奨学金制度の拡充は、子どもや家庭に希望を与えます。さらに、支援を受けた生徒が西海市に帰ってくるような、新たな賞与奨学金制度を検討してください。

② 安心して快適な教育施設の整備

- 時代に対応した施設の冷暖房化、ICT化をお願いします。教職員住宅についても水洗化だけでなく、現代の生活環境に対応したインターネット環境の整備などもお願いします。

(5) 地域で支える文化・芸術、スポーツの振興

① 文化・芸術活動の推進

- 文化・芸術活動の推進については、自前の事業だけでなく、様々な公的補助事業や民間事業があると思います。文化・芸術事業に対するアンテナを張り積極的に活用することが望まれます。
- 文化活動を支援するのか、文化協会を支援するのかで、事業内容も変わると思います。いずれにせよ、市民のニーズを把握することが大切です。

② 文化財の保存・保護・活用

- 専門職である学芸員を2名配置したことは意義深いと思います。博物館については、ハード（施設）よりソフト（運営）の充実が重要です。まずは市内の資料館にある収蔵品を把握する必要があります。できればデータベース化し、資料館及び資料の活用を考えるべきです。また、学芸員の資質向上のために各種研修会参加も配慮してください。
- 文化財は有形、無形、天然物など多岐にわたります。市民に知ってもらうため「西海史跡ガイドブック」作成は価値があります。今後は、どのような活用ができるのか検討をお願いします。できれば、活用事例をHP上に公開して欲しいと思います。
- 地域伝統文化の継承は担い手不足から継承すら難しい状況になるおそれがあります。伝統芸能の映像化、記録化は後世のために大切なことです。

③ 活力あるスポーツの振興

- 活力あるスポーツの振興を目指すには、組織（体制）、施設設備の充実、指導者養成等、総合的にとらえる必要があります。生涯スポーツの振興として、全市民が参加できる組織が「総合型地域スポーツクラブ」であれば、競技団体や指導者との連携を図り独自の生涯スポーツの振興を目指してください。

④ スポーツ環境の充実

- 旧町時代の施設や行事を見直し、無理のない体制や運営を目指して欲しいと思います。

平成30年11月12日

岩永嘉人

Ⅲ 自己点検・評価一覧表

1 教育委員会の活動状況について

中項目	小項目	29年度	28年度	内容等
1 教育委員会の構成	① 構成数	5人	5人	うち、小中学校の保護者1名
	② 平均年齢	62歳	61歳	58歳・1名、59歳・1名 61歳・1名、65歳・1名 69歳・1名 (平成30年3月31日現在)
	③ 性別	男性 2名 女性 3名	男性 2名 女性 3名	
2 教育委員会会議の運営及び情報発信	① 会議開催数	13回	14回	定例教育委員会を12回、臨時教育委員会を1回開催した。
	② 会議傍聴者数	11人	10人	教育委員会会議の開催について、市広報誌、教育委員会ホームページ上に掲載するなど会議開催の周知を図った。
	③ 議事録の公表状況	13件	14件	教育委員会会議録をホームページで公開した。
3 市長との連携	① 意見交換会の状況	2回	2回	7/27、10/24 に総合教育会議を開催し、市長との意見交換を実施した。
4 教育機関等との連携	① 学校への訪問	26回	28回	別紙のとおり、26回の学校訪問を行い、延べ数で71名の教育委員の出席があった。
	② その他社会教育施設への訪問	0回	0回	
	③ 長崎県教育委員会との意見交換	2回	2回	別紙のとおり、県内で開催された2回の研修会に延べ8名参加した。
5 教育委員の自己研鑽	① 研修会への参加状況	3回	3回	別紙のとおり、県主催の大会に参加した。

幼稚園・小中学校訪問状況

年 月 日	曜日	学 校 名	参加委員数	備 考
平成 29 年 4 月 7 日	金	市内小学校	5 名	入学式
平成 29 年 4 月 7 日	金	市内中学校	5 名	入学式
平成 29 年 4 月 11 日	火	大島幼稚園	2 名	入園式
平成 29 年 5 月 14 日	日	市内中学校	2 名	体育祭
平成 29 年 5 月 21 日	日	市内小学校	2 名	運動会
平成 29 年 9 月 3 日	日	大崎中学校	2 名	体育祭
平成 29 年 9 月 17 日	日	天真幼稚園	1 名	運動会
平成 29 年 9 月 24 日	日	平島小中学校	1 名	運動会
平成 29 年 10 月 1 日	日	大島幼稚園	2 名	運動会
平成 29 年 10 月 3 日	火	西海小学校	4 名	学校訪問
平成 29 年 10 月 7 日	土	西彼中央幼稚園	1 名	運動会
平成 29 年 10 月 25 日	水	大串小学校	4 名	学校訪問
平成 29 年 11 月 1 日	水	大島西小学校	5 名	学校訪問
平成 29 年 11 月 28 日	火	大崎中学校	3 名	学校訪問
平成 30 年 1 月 24 日	火	大瀬戸中学校	3 名	給食週間
平成 30 年 1 月 26 日	金	西彼北小学校	1 名	研究発表会
平成 30 年 2 月 1 日	木	大島東小学校	1 名	春を迎える会
平成 30 年 2 月 2 日	金	大瀬戸小学校	1 名	研究発表会
平成 30 年 2 月 4 日	日	雪浦小学校	1 名	春を迎える会
平成 30 年 2 月 10 日	土	大島幼稚園	2 名	生活発表会
平成 30 年 2 月 24 日	土	大島東小学校	1 名	サイエンスワールド
平成 30 年 2 月 25 日	日	白似田小学校	5 名	閉校式
平成 30 年 3 月 4 日	日	亀岳小学校	5 名	閉校式
平成 30 年 3 月 13 日	火	大島幼稚園	2 名	卒園式
平成 30 年 3 月 14 日	水	市内中学校	5 名	卒業式
平成 30 年 3 月 16 日	金	市内小学校	5 名	卒業式
計			71 名	

長崎県教育委員会との意見交換

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
平成 29 年 5 月 23 日	水	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	5 名	大村市
平成 29 年 11 月 17 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	3 名	対馬市
計			8 名	

研修会への参加状況

年 月 日	曜日	研修会名称	参加委員数	備考
平成 29 年 5 月 23 日	水	長崎県市町村教育委員連絡協議会総会及び研修会	5 名	大村市
平成 29 年 8 月 3 日 ～ 4 日	木 金	九州都市教育長協議会定期総会及び研修大会	3 名	宮崎県
平成 29 年 11 月 17 日	金	長崎県市町村教育委員研究大会	3 名	対馬市
計			11 名	

その他の活動状況

年 月 日	曜日	内 容	参加委員数	備考
平成 29 年 12 月 26 日	火	社会教育委員との意見交換会	5 名	
計			5 名	

2 教育委員会が管理・執行する事務について

中項目		活動指標	29年度	28年度	内容等
1	教育に関する事務の管理及び執行の基本的な方針に関すること	検討件数	3件	5件	平成29年度西海市教育行政基本方針要旨の決定他2件について審議した。
2	教育委員会規則その他教育委員会の定める規程の制定又は改廃に関すること	検討件数	36件	35件	教育委員会規則13件、訓令11件、告示12件について制定改廃を行った。
3	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること	検討件数	0件	1件	平成29年度該当なし。
4	教育委員会及び教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関の職員の任免その他の人事に関すること	検討件数	2件	4件	市内小中学校教職員の人事異動等について検討した。
5	教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること	検討件数	1件	1件	教育委員会の自己点検・評価について検討した。
6	教育に関する歳入歳出予算及び議会の議決を得るべき事件に関する意見の申し出に関すること	予算関係検討件数	7件	7件	当初予算及び補正予算について検討した。
		条例関係検討件数	7件	3件	西海市立学校設置条例の一部改正の他6件の条例の提案について検討した。
		その他検討件数	1件	0件	教育財産の無償譲渡について検討した。
7	通学区域の決定又は変更に関すること	検討件数	0件	0件	平成29年度該当なし。
8	教科用図書採択及び教材の取扱に対する方針を定めること	検討件数	1件	0件	平成30年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科書の採択について検討した。
9	県費負担に係る教職員の任免その他の進退について内申すること	検討件数	0件	2件	平成29年度該当なし。

10	教育委員会の所管に属する各種委員会の委員の任命又は委嘱に関する事	検討 件数	25 件	34 件	西海市いじめ等調査委員会委員等の各種委員会委員の委嘱について検討した。
11	市文化財の指定又は解除に関する事	検討 件数	1 件	0 件	西海橋を国有有形文化財として文化財登録原簿に登録することについて検討した。
12	学校その他の教育機関の敷地の選定及び変更を決定すること	検討 件数	0 件	0 件	平成 29 年度は該当なし。
13	1 件 1,000 万円を超える事業計画に関する事	検討 件数	2 件	1 件	平成 29 年度に実施する大型事業について検討した。
14	教育財産の取得及び処分について市長に申出を行う事	申出 件数	11 件	4 件	教育財産の取得 6 件、用途廃止 5 件について検討した。
15	その他	検討 件数	1 件	2 件	教育文化スポーツ功労表彰について検討した。
	計		98 件	99 件	

(参考) 西海市教育委員会議案等一覧

会議	種別	番号	件名	結果	中項目
第4回 定例会	議案	第32号	西海市いじめ等調査委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第33号	西海市教科書採択協議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第34号	西海市就学支援委員会委員の委嘱について	修正 可決	10
	議案	第35号	西海市立小・中学校省令主任の任命について	原案 可決	4
	議案	第36号	西海市スポーツ推進委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第37号	西海市小中学校適正配置等審議会（西彼地区審議会）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第38号	西海市奨学生選考委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第39号	平成29年度西海市教育行政基本方針要旨の決定について	原案 可決	1
	議案	第40号	教育財産の用途廃止について（江島小中学校校舎）	原案 可決	14
	議案	第41号	教育財産の取得について（江島小中学校校舎）	原案 可決	14
	議案	第42号	教育財産の取得について（雪浦小学校校用地）	原案 可決	14
	議案	第43号	教育財産の取得について（教職員住宅用地）	原案 可決	14
	議案	第44号	西海市立小中学校で使用する緊急時のタクシー借上事務処理要領の制定について	原案 可決	2
	議案	第45号	西海市立大島幼稚園に勤務する非常勤職員の服務に関する規程の制定について	原案 可決	2
	議案	第46号	西海市立小中学校に勤務する職員の服務に関する規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第47号	西海市スポーツ専門指導員設置規程の制定について	修正 可決	2
	議案	第48号	西海市学芸員設置規程の制定について	修正 可決	2
	議案	第49号	西海市化石部出作業員設置規程の制定について	原案 可決	2
	報告	第1号	平成28年度教育費補正予算（第5号）について	原案 承認	6
	報告	第2号	平成29年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 承認	13
第5回 定例会	議案	第50号	西海市立学校医の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第51号	西海市立小学校及び中学校における学校評議員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第52号	西海市立小学校及び中学校における地区学校評価委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第53号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第54号	西海市社会教育委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第55号	西海市公民館長、主事及び書記の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第56号	西海市公民館運営審議会委員の委嘱について	原案 可決	10

	議案	第 57 号	西海市文化財保護審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 58 号	西海市スポーツ推進審議会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 59 号	西海市小中学校適正配置等審議会（大崎地区審議会）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 60 号	西彼地区審議会分科会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 61 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市立学校設置条例の一部を改正する条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第 62 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （教育費補正予算第 1 号）	原案 可決	6
	議案	第 63 号	西海市教科書採択協議会設置条例施行規則の制定について	修正 可決	2
	議案	第 64 号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第 65 号	西海市立幼稚園保育料徴収規則等の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
第 6 回 定例会	議案	第 66 号	西海市結核対策委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 67 号	西海市学校・家庭・地域の連携協力推進事業運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	報告	第 3 号	教育財産の取得議案の訂正について	原案 承認	14
第 7 回 定例会	議案	第 68 号	西海市通学路安全推進会議委員の委嘱及び任命について	原案 可決	10
	議案	第 69 号	西海市立学校給食共同調理場運営委員会委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 70 号	西海市立図書館協議会委員の委嘱及び任命について	修正 可決	10
	議案	第 71 号	西海市小中学校適正配置等審議会（西彼地区審議会）委員の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第 72 号	西海市就学援助規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第 73 号	西海市学校給食費補助金交付要綱の制定について	原案 可決	2
	議案	第 74 号	西海市私立幼稚園教育振興費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第 75 号	西海市私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第 76 号	西海市離島高校生修学支援事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
第 8 回 定例会	議案	第 77 号	平成 30 年度使用小学校「特別の教科 道徳」教科書の採択について	原案 可決	8
	議案	第 78 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （西海市立学校給食共同調理場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第 79 号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について （教育費補正予算第 2 号）	原案 可決	6
	報告	第 4 号	平成 29 年度教育委員会所管大型事業に係る事業計画について	原案 承認	13
第 9 回 定例会	議案	第 80 号	西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会委員の委嘱又は任命について	原案 可決	10
	議案	第 81 号	平成 28 年度西海市教育委員会自己点検・評価について	継続 審議	5
	報告	第 5 号	平成 28 年度西海市一般会計（教育費）決算認定について	原案 承認	6
	議案	第 82 号	西海市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2

第10回 定例会	議案	第83号	西海市私立幼稚園特別支援教育補助事業費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第84号	西海市立小学校のあり方を考える懇談会設置要綱の制定について	原案 可決	2
	議案	第85号	教育財産の取得について（亀岳小学校駐車場用地）	原案 可決	14
第11回 定例会	議案	第81号	平成28年度西海市教育委員会自己点検・評価について	原案 可決	5
	議案	第86号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（財産の無償譲渡について）	原案 可決	6
	議案	第87号	教育財産の用途廃止について（教職員住宅）	原案 可決	14
	議案	第88号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第89号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市青少年スポーツ振興基金条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第90号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第91号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第92号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第4号）	原案 可決	6
第12回 定例会	議案	第93号	西海市立小学校及び中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第94号	西海市奨学資金貸付基金条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第95号	西海市立小学校及び中学校児童・生徒の通学費補助金交付要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第96号	西海市立小中学校共同実施室組織運営規程の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	報告	第6号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案の訂正について	原案 承認	2
第1回 定例会	議案	第1号	西海市青少年スポーツ振興補助金交付要綱の制定について	原案 可決	2
	議案	第2号	平成29年度教育・文化・スポーツ功労表彰被表彰者の決定について	原案 可決	15
第2回 定例会	議案	第3号	教育財産の用途廃止及び用途変更について（白似田小学校）	原案 可決	14
	議案	第4号	教育財産の用途廃止について（西彼中学校学校用地）	原案 可決	14
	議案	第5号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（西海市スクールバスの設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について）	原案 可決	6
	議案	第6号	西海市体育施設の設置及び管理に関する条例施行規則及び西海市立小学校及び中学校体育施設利用条例施行規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第7号	西海市体育施設管理要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第8号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（教育費補正予算第5号）	原案 可決	6
	議案	第9号	議会の議決を経るべき議案についての意見の申し出について（平成30年度教育費予算）	原案 可決	6
	報告	第1号	文化財登録原簿への登録の手続きについて	原案 承認	11
第1回 臨時会	議案	第10号	西海市第3次子ども読書活動推進計画の策定について	原案 可決	1
	議案	第11号	平成30年度教職員人事異動について	原案 可決	4

第3回 定例会	議案	第12号	西海市学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の委嘱について	原案 可決	10
	議案	第13号	西海市いじめ防止基本方針の改定について	原案 可決	1
	議案	第14号	教育財産の取得について（大崎地区教職員アパート）	原案 可決	14
	議案	第15号	教育財産の用途廃止について（教職員住宅）	原案 可決	14
	議案	第16号	西海市教育委員会電子公印規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第17号	西海市教育委員会公印規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第18号	西海市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第19号	西海市教職員住宅使用規則の一部を改正する規則の制定について	原案 可決	2
	議案	第20号	西海市立の学校におけるハラスメントの防止等に関する要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第21号	西海市通学路安全推進会議設置要綱の一部を改正する告示の制定について	原案 可決	2
	議案	第22号	西海市スクールガードリーダー設置規程の制定について	原案 可決	2
	議案	第23号	西海市学力向上スーパーバイザー設置規程の制定について	原案 可決	2
	議案	第24号	西海市教育委員会職員の自家用車の公務使用に関する規程の制定について	原案 可決	2
	議案	第25号	西海市教育委員会事務決裁規程等の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2
	議案	第26号	西海市教育委員会非常勤職員の任用に関する規程等の一部を改正する訓令の制定について	原案 可決	2

3 教育委員会が管理・執行を教育長に委任する事務について

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	学力の向上			
施策の方向性	全国・県・西海市学力調査の課題分析による授業改善			
成果指標	「授業実践の視点」をふまえた教諭等による研究授業の実施率			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	—
事業内容・成果	平成27年2月に作成した「授業実践の視点」や各種学力調査結果に基づいた各学校の学力向上プラン等を基に研究授業を全ての教員が年間1回以上行った。また、教育委員会事務局としても、各学校の校内研修に出向き、指導助言を行うことで授業改善を図った。		評価	A
課題・方向性	学力向上は本市の重要課題である。 西海市A Iプランを有効に活用した授業改善を推進する。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	学力の向上			
施策の方向性	キャリア教育の推進			
成果指標	「夢・あこがれ・志」を育むための具体的な教育活動の実施率			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	—
事業内容・成果	将来の生き方を視野に、「夢・あこがれ・志」をもった子どもたちを育てるために、計画的な進路指導や職場体験、キャリア教育の充実を図った。		評価	A
課題・方向性	「夢・あこがれ・志」をもった児童生徒を育成するために計画的な進路指導や職場体験に取り組む。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	学力の向上			
施策の方向性	家庭での学習時間と内容の充実			
成果指標	塾等を含む平日の家庭学習時間達成率			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	小低：－ 小高：－ 中：－	小低：23.4% 小高：61.5% 中：20.5% <small>※小学校高学年は90分以上のデータがないため、60分以上の達成率である</small>	小低：100% 小高：100% 中：100%	－
事業内容・成果	児童生徒の家庭学習の充実に向け、学力向上プロジェクト小・中連携検討チームを中心に対策を考え、各学校とPTAが連携しながら進めている。		評価	C
課題・方向性	家庭学習の時間は増加しているが、目標時間を達成している児童生徒は少ない。引き続き小・中連携検討チームの活動を推進するとともに、家庭や生徒会と連携した取組を図る。また、児童生徒の学習意欲を高めるため、キャリア教育の充実も図る。目標値が現状や県全体の指標とも異なることから見直しが必要である。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	特別支援教育の充実			
施策の方向性	専門機関等との連携による特別支援教育研修の充実			
成果指標	研修の充実度			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	－	99%	100%	－
事業内容・成果	西海市教職員夏季研修（特別支援教育）では市内小・中学校から73名が参加し、長崎大学教授による講義を受けた。また、特別支援教育コーディネーター連絡協議会や特別支援学級担任・通級指導教室担当者研修会、学習支援員・特別支援教育補助員研修会でも特別支援学校や療育支援センター等から講師を招き、研修の充実を図った。		評価	A
課題・方向性	教職員の特別支援教育への理解や経験、指導力は年々高まってきているため、経験や力量に応じた研修のあり方を適宜見直しながら、よりよい研修が行えるように努める。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	特別支援教育の充実			
施策の方向性	校内支援体制の充実			
成果指標	学習支援員配置充足度			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	85%	100%	100%	23,243
事業内容・成果	児童生徒の状況やニーズに応じて、担任や特別支援教育コーディネーターと連携しながら、意図的・計画的な校内の支援を可能にするため、学習支援員・特別支援教育補助員を大島幼稚園及び12小学校、4中学校に、前年度19名に対し今年度は、計25名を配置した。		評価	A
課題・方向性	通常学級に在籍する特別な支援を必要とする児童は年々増加傾向にあり、学校からの要望数も多くなってきている。今後も各学校の実態把握に努め、状況等に応じて適切に配置する。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	特別支援教育の充実			
施策の方向性	相談体制の充実			
成果指標	専門機関との連携回数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	11回	12回	12回	—
事業内容・成果	西海市就学相談会3回、長崎県教育センター巡回教育相談2回、就学支援委員会3回、療育機関就学ガイダンス4回、計12回の連携を行っている。また、各学校においては地域支援事業を活用した、特別支援学校への相談も積極的に行っており相談体制の充実を図ることができた。		評価	A
課題・方向性	今後も専門機関との連携を積極的に行い、相談体制の充実を図っていく。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	特色ある学校づくりの推進			
施策の方向性	グローバル化に対応した英語教育の推進			
成果指標	長崎県学力調査（中学校英語）で60%以上理解している生徒の割合			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	—	15%	60%	11,309
事業内容・成果	英語を母国語とする外国人5名の英語指導助手により、児童生徒に対し英語教諭又は担任教諭とともに英語指導を行った。生きた英語に触れることで、語学力の向上と国際理解を深めることができた。また、1名の英語教育指導員を小学校に派遣することにより、小学校外国語活動の充実を図ることができた。		評価	B
課題・方向性	小学校中学年への外国語活動の導入及び高学年の教科化に伴い、英語指導助手を1名増員して6名とし、英語教育指導員1名とともに雇用して英語教育の充実を図る。また、指標とする長崎県学力調査や英語指導助手のより効果的な活用法について、更に研究を深めていく。成果指標の一部改正も必要である。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	能力や個性を伸ばす教育の推進			
主要事業	特色ある学校づくりの推進			
施策の方向性	コミュニティ・スクールの主旨を生かした学校運営の推進			
成果指標	コミュニティ・スクール設置校数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	0校	0校	2校	—
事業内容・成果	「地域共同社会」として発展してきた本市の良さを生かしながら、地域・保護者・学校・教育委員会が協力して、コミュニティ・スクールの形成に向けた準備・研究が進んできている。		評価	B
課題・方向性	大瀬戸小学校をモデル校として、コミュニティ・スクールの設置を推進する。その他の学校においても「地域とともにある、特色ある学校づくり」に向け、準備・研究を進めていく。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	道徳教育に関する研修の推進					
成果指標	教職員を対象とした研修会の実施					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	継続	27		
事業内容・成果	小学校及び特別支援学校小学部では平成30年度から、中学校及び特別支援学校中学部では平成31年度からの「特別の教科 道徳」の全面実施に向け、長崎県道徳教育推進協議会で入手した国の動向に係る情報を市内関係職員に提供した。				評価	A
課題・方向性	道徳教育全体計画別葉の作成に関する研修、各学校における教科化への移行状況についての情報交換・協議を行う。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進					
主要事業	道徳教育の充実					
施策の方向性	研究授業を中心とした授業の質の向上					
成果指標	道徳科の授業研究会を実施している学校の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	—		
事業内容・成果	市内18校において、校内で授業研究を行った。				評価	A
課題・方向性	道徳教育における西海市の研究指定校である大瀬戸中学校の研究発表会をはじめ、各学校での授業研究会を通じて指導を行う。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	道徳教育の充実			
施策の方向性	道徳教育の場の充実			
成果指標	体験的な活動を道徳教育の内容項目と関連させ実施した学校の割合			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	—	100%	100%	—
事業内容・成果	各学校の教育方針に基づき、ごみ拾いや地域の清掃等のボランティア活動や中学校における職場体験学習等を実施し、道徳的实践力を育んだ。		評価	A
課題・方向性	生徒自らが成長を実感でき、これからの活動や目標が見つけられるよう、学校や家庭・地域社会における職場体験活動やボランティア活動、自然体験活動などの道徳性を養うための体験活動や情操を育む活動を積極的に活用し、道徳的实践力の推進を図る。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進			
施策の方向性	ふるさとについて学ぶための副教材の充実			
成果指標	地域を学ぶ副教材の作成			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	小学校3年生 中学校1年生 に配付	小学校3年生 中学校1年生 に配付	継続	207
事業内容・成果	市内小学校3年生(224人)、市内中学1年生(201人)に配付し、授業で活用することで、郷土を誇り、愛する西海市の子どもの育成に努めた。		評価	A
課題・方向性	自然、環境、歴史、行財政等、最新の情報を収集して、副教材を再編集し、内容の充実を図る。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	ふるさとを学ぶ教育の推進			
施策の方向性	各校の特色に応じた「西海学」の展開			
成果指標	創意工夫ある「西海学」を実施した学校の割合			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	100%	78%	継続	100
事業内容・成果	各学校の実情や地域の特色に応じて内容や実施学年を工夫し、ふるさとについて学ぶ学習を展開し、それに対する支援を行った。小学校14校中、11校が実施した。残り3校も西海市内のみかん選果場等の西海市内の施設見学を行ったが、「西海学」としてではなく、「社会科見学」として実施したため、成果に含めていない。		評価	B
課題・方向性	各小学校の創意工夫による「西海学」の展開により、児童が「ふるさと」に対する理解や愛着を深められるようにする。平成30年度は、事業内容を再確認し、全小学校で実施できるようにする。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	読書活動の推進			
施策の方向性	平日の読書習慣の確立			
成果指標	平日の読書時間の割合（1日30分以上）			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	小6：30.2% 中3：34.2%	小6：37.2% 中3：31.3%	小6：70% 中3：50%	—
事業内容・成果	学校図書館司書及び学校図書館運営補助員の配置による小中学校の読書活動の推進、朝の読書活動の定着等により、小学校の読書時間の割合は増加傾向を示した。		評価	B
課題・方向性	図書主任、学校図書館司書等への指導を通して、家庭読書の啓発を図っていく。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	読書活動の推進			
施策の方向性	蔵書率の充足			
成果指標	「学校図書館図書標準」等による標準冊数達成率			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	小：119.4% 中：99.1%	小：118.9% 中：106.4%	小：100% 中：100%	4,014
事業内容・成果	蔵書率100%を越えた学校から、古い図書の廃棄作業を進め児童生徒に必要な図書の整備を図っており、蔵書率が小学校においては平均で118.9%、中学校においては106.4%となった。		評価	A
課題・方向性	図書の計画的な廃棄と新規購入を行う。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現	所管課	学校教育課	
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進			
主要事業	読書活動の推進			
施策の方向性	学校図書館司書等の適正配置と研修の充実			
成果指標	学校図書司書等の配置人数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	10人	10人	継続	8,981
事業内容・成果	市内小・中学校の読書活動推進のため、中学校に図書司書を配置し、読書に関する指導や環境づくりを行うとともに、近隣小学校を巡回し中学校と同様の指導等を行った。		評価	A
課題・方向性	学校図書館司書の定期的な研修会（月1回）を通して、図書館教育への理解を深め、読書活動のより一層の充実を図る。			

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	不登校等の子どもへの支援				
施策の方向性	教育相談体制の整備				
成果指標	不登校児童生徒の改善率				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	50%	33%	95%	3,503	
事業内容・成果	心の教室相談員を各中学校に配置するとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等の専門家による教育相談体制を整備し、不登校に対する初期対応及び自立支援を充実させている。不登校の生徒が心の教室に別室登校したり、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーとの関わりから改善傾向が見られたりしている。			評価	B
課題・方向性	不登校の要因が多様化し、学校の問題だけでなく、本人や家庭に要因があることが多く、長期化しやすい。今後も、本人や家庭のケア、専門機関との連携による支援等、積極的に相談体制を充実させていく。目標値も95%ではなく、100%としながら改善していきたい。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	豊かな心の育成とふるさとを学ぶ教育の推進				
主要事業	不登校等の子どもへの支援				
施策の方向性	「適応指導教室」の充実				
成果指標	適応指導教室指導員の研修の受講回数				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	2回	3回	3回	1,956	
事業内容・成果	西彼地区、大島地区に開設している「適応指導教室」における指導・支援の向上を図るため、指導員の研修を充実させた。平成29年度は、長崎県教育委員会主催の研修1回と、長崎県教育センター主催の研修2回を受講した。			評価	A
課題・方向性	今後も積極的に研修を受講し、指導・支援の向上を図る。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	健康教育の推進				
成果指標	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	小：98.7% 中：96.8%	小：98.1% 中：95.2%	小：100% 中：100%	—	
事業内容・成果	朝ご飯を毎日食べて登校する児童・生徒の割合は高い水準を保っている。			評価	B
課題・方向性	「早寝・早起き・朝ご飯」運動を推進する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課
主要施策	健康で安全な学校生活の実現				
主要事業	健康・安全教育の推進				
施策の方向性	健康教育の推進				
成果指標	う歯罹患者の割合				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	小：17.2% 中：39.1%	小：13.9% 中：29.6%	小：16% 中：35%	—	
事業内容・成果	う歯罹患者の割合は、減少傾向である。			評価	A
課題・方向性	市の保健部局等と連携し、フッ化物洗口の取組を支援する。				

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	健康・安全教育の推進					
施策の方向性	安全教育の推進					
成果指標	避難訓練の実施率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	継続	-		
事業内容・成果	警察・消防等の関係機関と連携し、各学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を実施した。				評価	A
課題・方向性	学校の実態に応じた自然災害や火災、不審者対策等の避難訓練を推進し、関係機関と連携した安全教育に努める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	児童生徒の体力の向上					
成果指標	体力テストの結果において、全国平均を上回った種目の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	46.7%	35.3%	50%	-		
事業内容・成果	持久力については、多くの学年で全国平均を上回っている。柔軟性については、関連する補強運動等を体育授業の準備運動に行うことで改善が見られた。しかし、他の種目で全国平均を下回っているものが見られた。				評価	B
課題・方向性	児童生徒の体力の分析や実態に応じた指導計画及び実践を行う。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校体育の充実と体力の向上					
施策の方向性	部活動指導者の指導力の向上					
成果指標	部活動指導者講習会の実施					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	2回	2回	-		
事業内容・成果	部活動指導や社会体育の指導に携わる者が、知・徳・体のバランスのとれた児童生徒を育成するための部活動等の指導と環境づくりのあり方について考え、指導力及び資質の向上を図る。8月はアスレティックトレーナー、1月はスポーツ栄養士を講師に招聘し、講義・実技指導を行った。				評価	A
課題・方向性	平成30年度は、メンタルトレーナー、アスレティックトレーナーを招聘し研修会を実施する。教職員及び社会体育の指導に携わる者の指導力及び資質向上を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	安全な食材の確保					
成果指標	西海市産の農産物の使用率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	59.5%	63.8%	70%	-		
事業内容・成果	地元の食材を有効に活用することができた。また、市内産米の使用を控えていたが、使用が増え、全体の使用率も増加した。しかし、農作物の確保は天候等に左右されるため、継続が難しい場合もある。				評価	B
課題・方向性	安全な食材を確保するため生産者等と協議し、西海市産の農産物の使用を推進する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	食育の推進					
成果指標	学校における食育に関する行事の実施率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	85.7%	73.6%	100%	-		
事業内容・成果	学校において、全職員で食育を推進し、児童生徒が食に関する理解を深めるような実践を行った。				評価	B
課題・方向性	家庭と地域と連携した食に関する指導を充実させ、食生活を向上したり、食に関する関心を高める取組を継続する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	施設、設備の充実					
成果指標	学校給食施設の大規模改修施工箇所（累計）					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1箇所	0箇所	2箇所	-		
事業内容・成果	施設内の老朽化による修繕や備品等の購入および西海調理場法面崩落危険箇所の改修等、小規模な改修は行ったが大規模改修は行わなかった。				評価	C
課題・方向性	平成30年度に西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画を策定予定であるため、それを踏まえた大規模改修について検討する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	健康で安全な学校生活の実現					
主要事業	学校給食・食育の充実					
施策の方向性	学校給食施設の適正化					
成果指標	学校給食共同調理場の適正化					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	未策定	未策定	計画策定	170		
事業内容・成果	学校給食共同調理場の適正規模の検討を行うため、西海市立学校給食共同調理場適正化基本計画策定委員会を組織し、平成29年度においては、各調理場施設の現状（問題点）の洗い出しや先進地視察等を行った。				評価	B
課題・方向性	同委員会において、学校給食共同調理場規模適正化の基本理念、整備の必要性、整備候補地等について検討を行い、平成30年度に基本計画を策定する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	定期研修会の充実					
成果指標	定期研修会での充実度割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	90%	—		
事業内容・成果	各省令主任の研修会において、学力向上に係る授業実践について考えたり、各校の取組についての情報交換をしたりすることで、担当する校務分掌や学校の活性化につなげることができた。				評価	A
課題・方向性	各省令主任、養護教諭、栄養教諭及び特別支援コーディネーター等を対象とした定期研修会を、教育課題や学校の実態に応じて更に充実させていく。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	教職員研修の充実					
施策の方向性	選択制研修会の充実					
成果指標	選択制研修会の実施回数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	4回	5回	5回	104		
事業内容・成果	夏季休業中に、教職員の指導力や資質の向上を目的として、悉皆研修を2回、選択研修を3回開催した。悉皆研修では「道徳教育」「ア ンガーマネジメント研修」を、選択研修では「ICT教育」「特別 支援教育」「学校保健」を実施した。				評価	A
課題・方向性	本市の教育課題に対応する研修会を実施する。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	校内研修の充実					
成果指標	校内研修への指導主事及び教科等指導員の派遣実施回数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	52回	61回	50回	-		
事業内容・成果	各学校の研究内容に応じて指導主事を28回派遣し、指導助言を行っ た。また、学校訪問において、指導主事及び教科等指導員による指 導助言をのべ33回実施した。				評価	A
課題・方向性	指導主事や教科等指導員を派遣し、校内研修や学校訪問等で指導助 言を行い、教職員の指導力向上を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	教職員の資質の向上					
主要事業	校内研修の推進					
施策の方向性	研究指定校の支援					
成果指標	研究指定校数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	5校	5校	6校	600		
事業内容・成果	文部科学省支援事業及び県・市研究指定校を1校、市単独の研究指定校を4校指定し、各校における研究を深めた。また、研究の成果・課題を市全体で共有できるように、3校において研究発表会を開催した。				評価	A
課題・方向性	教育課題に対応した研究や市の特色を生かした研究を行う研究指定校に対する支援を充実し、研究を深めるとともに、その成果・課題を市全体で共有し、各学校の教育力を高める。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・小連携の推進					
施策の方向性	幼稚園・保育所（園）等と小学校とのより一層の連携推進					
成果指標	幼・保・小の教職員間の連携の実施割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	100%	100%	—		
事業内容・成果	幼稚園・保育園、小学校の教職員同士の情報交換を小学校単位で実施した。				評価	A
課題・方向性	幼稚園・保育園、小学校の職員同士の情報交換を推進し連携を図る。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼・保・小連携の推進					
施策の方向性	幼・保・小の教職員の合同研修の機会の充実					
成果指標	幼・保・小の教職員合同研修の実施回数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	0回	継続	-		
事業内容・成果	平成27年度、平成28年度は、特別支援教育に関する講演会を合同研修として実施したが、平成29年度においては日程調整、会場等の都合等により合同実施に至らなかった。				評価	C
課題・方向性	幼稚園・保育園の教職員が参加できるような体制づくりや、共有すべき内容について研究し、実施に向けた準備を行う。					

重点政策	生きる力をはぐくむ学校教育の実現			所管課	学校教育課	
主要施策	幼児教育の推進					
主要事業	幼児教育への支援					
施策の方向性	教職員の資質向上に向けた研修体制確立					
成果指標	研修会の年間実施回数 (回)					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	0回	1回	-		
事業内容・成果	幼稚園・保育園教職員の資質向上研修については、西九州させぼ広域都市圏事業「幼児教育センターのサービス提供」へ参加し、平成31年度から年に2回程度の研修が実施できるよう準備を進めた。				評価	B
課題・方向性	本事業への参加が教職員の資質向上につながる研修となることを幼稚園・保育園に周知するとともに、参加への支援を行う。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	学びを支援する体制の充実					
成果指標	社会教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	15講座	25講座	継続	1,085		
事業内容・成果	各世代のライフステージや現代的課題に対応した学習機会の充実を図るために、各地区に社会教育指導員を配置し、地域に根ざした社会教育講座を実施した。				評価	B
課題・方向性	受講者の固定化が見られるため、若年層を含む幅広い世代の市民が魅力を感じ受講しやすい学習講座の開設や地域のニーズに応じた学習内容の一層の充実を図ることが必要である。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	社会情勢に対応した生涯学習の推進と学習環境の整備					
施策の方向性	社会教育施設の適正な維持管理及び有効活用					
成果指標	既存社会教育施設整備事業の進捗率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	年間1施設	年間2施設	108,363		
事業内容・成果	西海公民館について、経年使用による劣化箇所（外壁・防水機能等）が改善されるとともに、トイレのバリアフリー化も実現し、施設の長寿命化とあわせ、利便性と安全性に配慮した施設の充実を図ることができた。				評価	B
課題・方向性	社会教育施設（公民館等）については、老朽化が進んでいるため、施設複合化も視野に入れた施設整備計画を策定し、効率的かつ適正な施設の維持管理に努めていく必要がある。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書館ネットワークの整備					
施策の方向性	図書システム運用の充実					
成果指標	図書館システムの導入					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2館 3室	2館 3室	継続	4,653		
事業内容・成果	図書館システム導入により、市内全ての図書館蔵書を把握することができている。その結果、市内間における相互貸借数が微増した。				評価	B
課題・方向性	図書システムを活用した図書館（室）利用について、様々な機会を通じて周知を図り、身近な図書館（室）として利用者にとって利便性のある運営を目指す。また、教育委員会内に設置している図書システムサーバーについては、作動状況点検等の適正管理を行っていく。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書館ネットワークの整備					
施策の方向性	クロスねっとを活用したサービスの充実					
成果指標	長崎図書クロスねっとへの検索サービス					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2館 3室	2館 3室	継続	-		
事業内容・成果	長崎県立長崎図書館を中心としたクロスねっとを活用し、県内外の図書館蔵書の検索や相互貸借が可能となり、サービス提供の拡大に繋がった。				評価	B
課題・方向性	市内の図書館（室）に蔵書がなくても、クロスねっとを活用して県内外の図書館との相互貸借サービスが受けられる旨の周知を行う。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	図書館利用者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	32,879人	33,640人	33,500人	-		
事業内容・成果	利用者に親しまれる公立図書館（室）を目指し、館内における季節ごとのレイアウト変更及び周知広報等を含めた事業展開を行った。				評価	B
課題・方向性	来館者数を維持していることから、今後も利用者の多種多様なニーズに柔軟に対応できるよう、各図書館（室）職員の各種研修に努め、特色あるレファレンス機能の充実や周知広報等も含めた事業展開を図っていく。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	蔵書の充実、レファレンス機能の充実、図書館（室）の適正な維持管理					
成果指標	貸出資料数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	117,254冊	121,094冊	119,000冊	-		
事業内容・成果	各図書館（室）での貸出に限らず、公立図書館（室）から「身近に本を届ける支援サービス」の一環として、学校や幼稚園、保育所等へ移動図書サービスや団体貸出、学級文庫への貸出を実施した。				評価	A
課題・方向性	今後も各図書館（室）の利用者ニーズに対応した選書、読書相談・レファレンス・読み語りを実施し、各館（室）とも特色のある幅広い蔵書の充実を図りながら読書環境の提供を行う。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	図書サービスの向上					
施策の方向性	図書ボランティアの推進					
成果指標	図書ボランティア数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	5人	6人	18人	-		
事業内容・成果	各学校において図書ボランティアの活動がなされているが、各公立図書館（室）における図書ボランティア活動はあまりなく、具体的な支援策を実施するまでには至らなかった。				評価	C
課題・方向性	図書ボランティア数減少及び活動機会がない現状を改善するため、読書活動に精通した図書ボランティアを確保するための養成講座開設や、ボランティア実践活動体制づくりを構築するための研究を行う必要がある。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	乳児健診時のブックスタート実施率					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	継続	253		
事業内容・成果	子ども読書活動推進計画に基づき、絵本を通じた親子のコミュニケーションの機会の提供や、文字や言葉の意味を理解する前の年齢から本に触れさせることにより、読書習慣の醸成を図った。徐々にではあるが絵本や読み語りについて興味を持ち、各図書館（室）職員へ質問する保護者も増えてきている。				評価	B
課題・方向性	今後も、「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、子どもたちの発達段階に応じた読書に親しむ機会の提供を行う。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	学習環境の充実					
主要事業	子どもの読書活動の充実					
施策の方向性	子どもの発達段階に応じた読書活動の推進					
成果指標	図書館まつりの開催					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	1回	継続	35		
事業内容・成果	年に1度開催している『図書館まつり』において、人形劇や絵本の読み語り、紙芝居などを実施して本の世界に触れる機会や読書に親しむ機会を提供した。また、各図書館（室）にて毎月定期的に『おはなし会』を開催する取り組みを併せて行っている。				評価	B
課題・方向性	今後も「西海市子ども読書活動推進計画」を踏まえ、読書の楽しさや本に親しむ機会の提供を行う。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館を核とした地域教育力の向上					
施策の方向性	自治公民館への支援					
成果指標	自治公民館モデル事業実践館数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	5館	16館	10館	2,073		
事業内容・成果	本事業は、モデルテーマに沿った自治公民館活動に対し、申請により補助金を交付している。平成29年度は市内自治公民館41館のうち16館が本事業を活用し、伝統文化継承事業等、様々な事業を行った。本事業の活用により、自発的な公民館活動の展開と住民協働の地域づくりが推進できた。				評価	A
課題・方向性	本事業を活用した取り組みについては、未活用の館にも情報提供することにより、本事業の更なる積極的な活用について周知のための広報を行っていく必要がある。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館等における生涯学習活動の支援及び学習機会の充実					
成果指標	公民館利用者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	69,416人	73,327人	71,400人	-		
事業内容・成果	各地区に配置している社会教育指導員を中心に、ライフステージに応じた講座や地域の特色を生かした各種講座を開催した。				評価	B
課題・方向性	今後も、学習者ニーズや住民の要求課題、地域課題を把握しながら、魅力のある多様な学習講座の展開を図る。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課	
主要施策	公民館活動の活性化					
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備					
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化					
成果指標	公民館職員等の年間研修機会回数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2回	1回	継続	536		
事業内容・成果	県公民館大会では、各地区公民館からの参加があり、県内の公民館関係との広域的な意見交換・情報交換を図りながら研鑽を図った。また、県主催の公民館職員研修会及び市主催の生涯学習のつどいの開催周知を行い、研修の機会提供を行った。				評価	B
課題・方向性	今後も、自主的な公民館活動及び活性化を目指すための人材育成として、公民館役職員を対象にした研修機会や情報提供を行う。					

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	公民館活動の活性化				
主要事業	公民館等を活用した学習拠点づくり及びネットワークの整備				
施策の方向性	公民館役職員の育成とネットワーク強化				
成果指標	公民館連絡会議の開催				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	1回	1回	継続	-	
事業内容・成果	公立公民館及び各地区公民館長・主事・書記等、公民館役員の横のつながりを強化するため、連絡会議を開催し、各公民館の事業報告及び事業計画を提示しながら意見交換を行った。また、公民館講座例の紹介として、社会教育指導員による実技講習を行った。			評価	B
課題・方向性	今後も、市内各公民館における課題解消及び公民館活動事業活性の参考となるよう、情報共有及び情報交換ができる場の提供を行う。				

重点政策	いつでも、どこでも学べる生涯学習の推進			所管課	社会教育課
主要施策	人権・同和教育の推進				
主要事業	社会における人権教育の推進				
施策の方向性	人権教育・啓発の推進				
成果指標	人権・同和教育に関する講演会・研修会の参加者延べ数				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	531人	421人	558人	296	
事業内容・成果	「西海市人権のつどい」や各地区において開催した成人・高齢者講座で、人権・同和の問題に関する学習の機会を提供し、人権尊重の地域づくりを行った。また、平成29年度の「西海市人権のつどい」の参加者（421人）は平成28年度の参加者（341人）より大幅に増加していることから、人権・同和教育への関心の高さが窺える。			評価	B
課題・方向性	今後も、「人のぬくもりと心の豊かさが実感できる西海市」を目指し、人権・同和教育の推進を図る。				

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	学校教育課	
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	人権・同和教育、平和教育の推進					
成果指標	人権集会、平和集会の実施校の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	継続	—		
事業内容・成果	全小・中学校で実施した。人権に関する学習では、高齢者とのふれあい集会や知的障害のある方々で構成するプロの和太鼓グループとの交流等を行った。平和学習においては、原爆資料館や被爆遺構の見学、被爆者等の講演などを行った。				評価	A
課題・方向性	今後も取組を継続し、全小・中学校で確実に実施する。					

重点政策	いつでもどこでも学べる生涯学習の推進			所管課	学校教育課	
主要施策	人権・同和教育の推進					
主要事業	学校における人権・同和教育及び平和教育の推進					
施策の方向性	いじめを見逃さない、安心して過ごせる学校づくり					
成果指標	いじめ解決の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	小：100% 中：100%	小：100% 中：100%	継続	—		
事業内容・成果	各校の教職員をはじめ、SC、SSW、心の教室相談員と連携し、早期解決にむけて適切に対応した。また、定期的なアンケートの実施で児童生徒の実態把握を行った。				評価	A
課題・方向性	人権教育及び児童生徒理解に関する研修を推進し、いじめの早期発見・早期解決に向けた体制づくりを継続する。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	保護者への家庭教育の支援					
成果指標	家庭教育学級の開催数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	13学級	9学級	20学級	141		
事業内容・成果	各PTA及び保護者会が主催する『家庭教育講座』に対し、講師謝金等の助成や講師選定の助言等を行い、家庭教育のあり方について、「親学び」の機会を提供した。				評価	B
課題・方向性	今後も、PTA及び保護者会と連携を図りながら、家庭教育のあり方について学ぶ機会（講座・学級）を提供する。また、本事業の活用推進を図るため、市内各小中学校PTA、幼稚園及び保育所（園）保護者会に対し周知を行う。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上					
主要事業	保護者への子育て支援					
施策の方向性	家庭教育講座開設					
成果指標	公民館における家庭教育講座開設数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	—	2講座	3講座	—		
事業内容・成果	地区社会教育講座において、夏休みに地元食生活改善グループによる親子教室及びミニ畳づくり教室を開設し、家庭教育について学ぶ機会を提供した。				評価	B
課題・方向性	地域ニーズ等の把握や各地区における社会教育講座との連携を視野に入れながら、家庭教育講座の開設について検討を行う必要がある。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	所管課	社会教育課	
主要施策	家庭の教育力の向上			
主要事業	P T A活動の活性化			
施策の方向性	P T A活動の支援			
成果指標	P T A研究大会及び研修会等の開催			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	3回	4回	継続	1,852
事業内容・成果	西海市P T A連合会が主催し、会員間の連携・融和や資質向上と学校教育の充実・促進を図ることを目的とした会員研修会や各専門部主催の研修を開催し、会員相互の情報共有が図られた。また、昨年度は長崎県P T A連合会と西海市P T A連合会と合同で研修会を開催し、研鑽が積まれた。		評価	B
課題・方向性	今後も、西海市P T A連合会が開催する研修会等への参加をはじめ、P T Aの組織運営がスムーズに進むよう支援を行う。			

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			
主要事業	青少年関係団体の活性化			
施策の方向性	青少年健全育成活動の支援			
成果指標	青少年健全育成事業及び啓発活動実施件数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	3回	4回	継続	270
事業内容・成果	西海市青少年健全育成大会や大鍋まつり、各地域でのイベントにおいて、「ココロねっこ運動」の啓発活動を実施した。		評価	B
課題・方向性	今後も、青少年健全育成を推進するため、関係団体と連携・情報共有を図りながら事業を展開する。			

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			
主要事業	青少年関係団体の活性化			
施策の方向性	指導者育成の支援			
成果指標	指導者研修会の開催			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	2回	0回	継続	—
事業内容・成果	市内単位子ども会に対し、九州地区及び長崎県ジュニアリーダー研修会等の情報提供を行ったが、参加者はいなかった。		評価	C
課題・方向性	これまでは単なる情報提供に留まっていたが、今後は、提供範囲の拡大を含め、対象者の積極的かつ自発的な参加を促すような取組が必要である。			

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			
主要事業	青少年の交流活動の推進			
施策の方向性	子ども体験活動事業の推進（西海市子ども夢基金）			
成果指標	子ども体験活動事業申請対象件数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	21件	22件	26件	3,559
事業内容・成果	市民団体等が次代を担う子どもの健やかな成長を育むことを目的として行う事業（自然体験・科学体験・文化活動等）に対し、22件の助成を行った。		評価	A
課題・方向性	今後も自然体験や文化活動等を通して、本市の次代を担う子ども達の健やかな成長を育むため、本事業の積極的な活用について、幅広い周知活動を展開する。			

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の交流活動の推進					
施策の方向性	交流及び体験活動の機会の提供					
成果指標	青少年を対象にした体験・交流事業					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1回	2回	2回	-		
事業内容・成果	西彼青年の家主催事業である「子ども遊楽塾」に対し、職員の派遣協力を夏季20名、冬季：2名（いづれも延べ数）を行った。また、市内単位子ども会へ本事業の情報提供を行った。				評価	A
課題・方向性	今後も関係団体と連携・協力を図りながら、青少年の交流活動の更なる推進及び支援体制づくりに努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上			所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成					
主要事業	青少年の有害環境から守る取組の推進					
施策の方向性	有害情報対策の推進					
成果指標	有害図書類販売店舗等への立入調査への協力者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	27人	28人	継続	34		
事業内容・成果	「青少年の非行・被害防止全国強調月間（7月）」と「子ども・若者育成支援強調月間（11月）」にあわせ、関係団体（機関）の協力を得ながら、有害図書類等販売店舗（コンビニ・書店・携帯電話販売店等）への立入調査を実施した。				評価	B
課題・方向性	今後も、有害図書類等販売店舗への立入調査と白ポストによる有害図書類等の回収事業を継続し、青少年の健全育成のために有害環境の浄化に努める。					

重点政策	市民総ぐるみで取り組む教育力の向上	所管課	社会教育課	
主要施策	青少年の健全育成			
主要事業	青少年を有害環境から守る取組			
施策の方向性	メディア安全指導員の養成と利用促進			
成果指標	本市における長崎県メディア安全指導員の登録者数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	1人	4人	5人	—
事業内容・成果	市内におけるメディア安全教育の推進を目的として、メディア安全講習会へ3名が参加し、資格を取得した。取得後は市内小中学校で、情報メディアの適切な利用について講話を行っている。		評価 B	
課題・方向性	市内の資格取得者は4名となったが、県内他市町と比較すると割合は低い状況にあるので、メディア安全教育の更なる普及を推進するため、資格取得支援を継続する必要がある。			

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	学校教育課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	安全確保を図る地域ボランティアの育成					
施策の方向性	地域ぐるみの安全確保対策					
成果指標	関係機関やP T A等が協力して児童の登下校を見守っている小学校の割合					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	100%	100%	継続	-		
事業内容・成果	学校及び保護者、地域ボランティアとの連携を図り、地域ぐるみの学校安全体制の充実を図った。				評価	A
課題・方向性	子どもたちが安心して学校や地域での生活が送れるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取組を一層充実する。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現					
主要事業	学校の適正配置の促進					
施策の方向性	学校の適正配置の推進・統合に伴う環境整備の推進					
成果指標	小学校数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	14校	14校	「西海市立小中学校適正配置基本計画」や地域住民等の意向等を踏まえた実施計画に基づいた学校数	7,964		
事業内容・成果	西彼地区（亀岳小・白似田小）については平成30年4月の「ときわ台小学校」開校に向けた各種協議、開校準備及び閉校式を実施した。大崎地区（大島西小・大島東小・崎戸小）については、審議会を開催し小学校統合事業の推進に取り組んだ。				評価	B
課題・方向性	大崎地区及び大瀬戸地区における複式学級の解消については、地域及び保護者の理解が得られていないことから、子どもたち並びに地域にとって望ましい学校のあり方について引き続き検討していきます。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	社会教育課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	放課後の子どもたちの居場所づくり				
施策の方向性	放課後子ども教室の開催、土曜学習の開催				
成果指標	人材バンク登録者数				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	30人	33人	継続	10	
事業内容・成果	<p>放課後及び土曜日等における子どもたちが安全で健やかに過ごせるよう学校の余裕教室等を活用しての居場所づくりを確保し、人材バンク登録者をはじめとする地域住民等の参画を得て、放課後子ども教室及び土曜学習の充実に努めた。</p> <p>『放課後子ども教室』では延べ3,802人の児童が参加した。(内訳：西海東小学校1,938名、大島東小学校1,864名)また、市内各施設を活用しての『土曜学習』を実施し、市内延べ464名の児童が参加した。(内訳：キッズ英会話コース309名、ふるさと体験発見コース155名)</p>			評価	B
課題・方向性	放課後子ども教室は小学校及び図書館の余裕教室を活用した事業を行っているが、実施場所が手狭で子どもたちの受入人数に限界があるため、近隣の公共施設等の活用を検討し、事業の継続に努めます。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安心で望ましい教育環境の実現				
主要事業	奨学資金制度の拡充				
施策の方向性	奨学資金制度の充実				
成果指標	西海市奨学生の新規認定者数				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	1人	9人	10人	69,000	
事業内容・成果	<p>奨学資金制度の大幅な見直しを行い対象校の拡大、入学一時金や貸付額の増額、返還期間の延長、返還免除制度を導入した。あわせて、基金額を31,000千円から100,000千円に増額した。</p>			評価	B
課題・方向性	制度の大幅な見直しにより、利用者の増加が見込まれる一方、返還金の滞納なども危惧されることから、制度の適正な運用に努めます。				

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造					
成果指標	学校校舎の大規模改造					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	19校/43校	24校/43校	31校/43校	283,357		
事業内容・成果	校舎の大規模改修事業として、亀岳小学校及び大串小学校の屋上防水、外壁、老朽内部、LED照明の改修、扇風機、空調設備、多目的トイレの設置並びにトイレ洋便器等の改修工事を行った。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい学校校舎の内壁、床、給排水設備、機械設備、電気設備などの内部改修、外壁並びに屋上防水改修に向け予算確保に努めます。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	屋外運動場の改修					
成果指標	屋外運動場の改修					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	3校/9校	3校/9校	6校/9校	0		
事業内容・成果	子どもたちが等しく体育活動に参加できるよう、学校屋外運動場の改修を計画的に実施するため、学校施設等現況調査を実施し、改修予定学校の状況把握に努めた。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋外運動場の改修に向け予算確保に努めます。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校校舎等の大規模改造					
成果指標	屋内運動場の大規模改造					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	6校/26校	9校/26校	16校/26校	124,039		
事業内容・成果	屋内運動場の大規模改修事業として、大瀬戸小学校屋内運動場の屋上防水、外壁、老朽内部、LED照明、トイレ洋便器等の改修工事を行った。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、引き続き老朽化が著しい屋内運動場の内部の改修、外壁及び屋上防水の改修、並びにトイレの洋便器等への改修に向け予算確保に努めます。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校施設の改修					
施策の方向性	学校の温暖化対策					
成果指標	学校の温暖化対策					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0校/12校	3校/12校	6校/12校	決算額については、校舎の大規模改修工事へ計上		
事業内容・成果	校舎の大規模改修事業として、亀岳小学校及び大串小学校の屋上防水、外壁、老朽内部、LED照明の改修、扇風機、空調設備、多目的トイレの設置並びにトイレ洋便器等の改修工事と併せ普通教室へ扇風機を設置した。				評価	B
課題・方向性	安全で安心な望ましい教育環境を確保するため、平成32年度までに小中学校の全ての普通教室に空調設備の整備を図ります。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	学校情報通信技術の整備					
施策の方向性	教育ネットワークの構築					
成果指標	教育ネットワークの構築					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0%	0%	100%	0		
事業内容・成果	西海市が平成33年度末までを整備期間として実施している「西海市光のみち構想（全市内光ファイバー化事業）の進捗を確認するとともに、教育ネットワーク構築へ向けた情報収集に努めた。				評価	B
課題・方向性	全市内光ファイバー化事業の進捗にあわせて、教育委員会と各学校間のネットワークの整備や校務支援システム、グループウェアの導入、学校における情報セキュリティの強化に向け予算確保に努めます。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課	
主要施策	安全で快適な教育施設の整備					
主要事業	教職員住宅の整備					
施策の方向性	教職員住宅の整備					
成果指標	教職員住宅の整備					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	90戸	93戸	102戸	114,282		
事業内容・成果	老朽化が著しい住宅1戸を解体し、併せて土地の返還等に伴い住宅を譲渡した。また、教職員住宅が不足している大崎地区へ1棟6戸の建設と、改修を必要とする住宅3棟14戸の改修に向けた設計業務を行った。				評価	B
課題・方向性	教職員住宅が不足している地域に新たに住宅を整備するとともに、老朽化が著しい住宅を解体し、新築、改修するなど、引き続き住宅の整備に向けた予算確保に努めます。					

重点政策	安心して学べる教育環境の構築			所管課	教育総務課
主要施策	安全で快適な教育施設の整備				
主要事業	教職員住宅の整備				
施策の方向性	教職員住宅の水洗化				
成果指標	教職員住宅水洗化率				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	68.90%	73.58%	85%	決算額については、教職員住宅の整備へ計上	
事業内容・成果	水洗化が進んでいない老朽化が著しい住宅1戸を解体し、併せて土地の返還等に伴い住宅を譲渡した。また、教職員住宅が不足している大崎地区へ1棟6戸の建設を行うことにより、教職員住宅の水洗化率が向上した。			評価	B
課題・方向性	水洗化が進んでいない教職員住宅について、引き続き新築、改修の機会を捉えるとともに、水洗化の推進に向けた予算確保に努めます。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進			
主要事業	文化芸術と触れ合う機会の創出			
施策の方向性	芸術と触れ合う機会の創出、文化施設の整備・活用			
成果指標	優れた文化・芸術に関するイベントの開催回数（年間）			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	0回	1回	1回	343
事業内容・成果	西海市文化協会と連携して、京都大学交響楽団による演奏会を開催した。西海市内の子どもたちの合唱団体である「さいかいジュニア合唱団」も出演し、市民が優れた文化・芸術に触れ合う機会を提供することができた。		評価	B
課題・方向性	今後も文化協会と連携して、優れた文化・芸術に関するイベントを開催し、文化の振興に努める。			

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進			
主要事業	文化団体の交流活動の促進			
施策の方向性	文化活動の支援			
成果指標	全市的な文化祭等の開催回数及び入場者数（年間）			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	3回 2,154人	4回 1,450人	3回 2,370人	—
事業内容・成果	西海市文化協会主催による第7回西海市文化祭（舞台発表・6月）、第6回西海市文化展（展示・11月）及び文化協会加盟団体による第5回西海市民音楽祭(12月)の開催を支援した。また、新たな取組みとして、第1回新春踊り初めを開催した。		評価	B
課題・方向性	文化協会が主催する事業を支援し、市民の文化活動の活性化を推進する。			

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化・芸術活動の推進					
主要事業	文化団体の交流活動の促進					
施策の方向性	文化活動の支援					
成果指標	西海市文化協会への加入促進					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	560人	531人	600人	5,315		
事業内容・成果	西海市文化協会への加入を促進するため、子ども対象の「夏休み子供芸術体験講座」や高齢者対象の芸術公開体験「出前講座」を実施した。また、広報紙・機関誌発行などの取組みを通じて、協会の魅力向上に努めた。				評価	C
課題・方向性	高齢化等により会員数が減少しているため、会員増加のための文化協会の各種事業を支援する。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の公開・研究					
施策の方向性	歴史・文化の拠点づくり					
成果指標	(仮称) さいかい市民ミュージアム(博物館)の創設					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	検討委員会からの 答申済み 0%	検討委員会からの 答申済み 0%	ミュージアム準備室 (仮)の設置 50%	9,287		
事業内容・成果	教育委員会に専門職員である学芸員を2名配置し、本市の地質や民俗の調査・研究を進め、その成果を歴史民俗資料館における展示や「ふるさと発見講座」などで、市民に発信した。				評価	C
課題・方向性	歴史・文化の拠点となる施設を設置するためには、これまでの調査・研究の成果を含め、市民への啓発的な活動が今後も必要である。また、今ある本市の魅力在市ウェブサイトや市内3箇所の歴史民俗資料館を中心に市内外に広く発信していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	市民への啓発					
成果指標	西海史跡ガイドブック（『西海市の文化財』）の充実					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1,000冊作成	適宜追記・増刷	適宜追記・増刷	296		
事業内容・成果	平成25年度に作成し販売を終えていた『西海市の炭鉱遺構（概要版）』を増刷し、文化財の市民への啓発を図った。また、「さいかいふるさと発見講座」を全3回実施し、計80名を超える市民の参加があった。				評価	B
課題・方向性	『西海市の文化財』は刊行から5カ年が経ち配布を終えている。その後、新たに指定されている文化財もあるため、内容の更新を図り増刷する必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	文化財の保存・保護・活用					
主要事業	文化財の保存・活用					
施策の方向性	保護・活用方法の検討					
成果指標	文化財の調査・研究着手件数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2件	2件	3件	6,708		
事業内容・成果	平成28年度から「さいかい解明新書事業」として、地質鉱物や化石資源の調査・研究に取り組んでおり、平成29年度は資源の調査・研究に加え、市内で発見された化石について記者発表を行い、大崎地区の児童・生徒（小4～中2）らに講演会を行う等、その成果の一部を発信した。				評価	B
課題・方向性	現在取り組んでいる調査・研究について、市民の認識向上のために成果物等を刊行する必要がある。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用				
主要事業	地域伝統文化の継承				
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上				
成果指標	伝統文化等の記録・保存件数				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	13件	13件	15件	0	
事業内容・成果	伝統芸能等の映像記録を作成し、記録の保存を行った。あわせて、その情報発信を行い、市民に内容と価値の周知を図った。 市内の伝統芸能団体に対しては、県内外で開催される大会等の案内を行った。			評価	C
課題・方向性	少子・高齢化等の影響で伝統芸能の継承が困難となりつつある地域もある。 伝統芸能については、映像記録の制作や必要な道具の購入など保持団体の状況に応じた支援に努めるとともに、郷土芸能の映像記録を活用して、西海市ウェブサイト等で市民への周知に努める。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課
主要施策	文化財の保存・保護・活用				
主要事業	地域伝統文化の継承				
施策の方向性	伝統芸能活動の支援、情報発信の強化による地域住民の意識向上				
成果指標	認定文化財の登録件数				
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)	
	0件	0件	2件	0	
事業内容・成果	文化財として未指定の各地区にある文化遺産を継承すべく、西海市地域遺産に成り得る遺産を西海市文化財保護審議会において検討した。 また、当該遺産については、広報誌を通して、市民への周知を行った。			評価	C
課題・方向性	西海市地域遺産について、市民間での認知度向上を図り、広く当該遺産候補を集う必要がある。				

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	スポーツ教室等生涯スポーツ事業の開催数（年間）					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	13回	15回	20回	138		
事業内容・成果	平成29年度は、大瀬戸プールにおいて小学生を対象とした水泳教室、幼児を対象とした体操教室を実施した。また、地域からの要請に応じて、スポーツ推進委員と教育委員会合同でストレッチ教室等を実施した。加えて、スポーツ専門指導員による中学生陸上競技合同練習会を2回開催した。				評価	A
課題・方向性	平成29年度は、幼児から小中学生を対象とした事業が主であったため、青年・壮年層についても体育協会と連携し、スポーツ事業の推進を図っていく。また、地域からの要望に応え、スポーツ推進委員、体育協会と教育委員会が連携し、出前講座に出向き指導することで健康づくりを推進していく。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	総合型地域スポーツクラブの設置と運営支援					
成果指標	総合型地域スポーツクラブ設立団体数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	1団体 (累計)	1団体 (累計)	2団体 (累計)	—		
事業内容・成果	現在大瀬戸地区に1団体設置し、陸上競技を中心に活動を行っている。西海市体育協会協力のもと、春季・冬季計2回のクロスカントリー大会に取り組んだ。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブについては、体育協会の単協組織やスポーツ少年団などの組織が存在し、総合型クラブを推進していくメリットがあまり感じられないなどの意見もあるが、生涯スポーツを推進するうえで必要な取り組みであり、体育協会やスポーツ推進委員と連携して新たな総合型クラブの設置を目指す。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	生涯スポーツの推進					
施策の方向性	生涯スポーツの環境づくり					
成果指標	アシスタントマネージャーの育成数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	2人	2人	3人	-		
事業内容・成果	平成29年度は、アシスタントマネージャー養成講習会の受講者はいなかった。また、上級資格のクラブマネージャー養成講習会についても講習会場が東京などの都市圏のみの開催となっているため参加者がいなかった。				評価	C
課題・方向性	総合型クラブの設置と併せて育成を検討する。アシスタントマネージャー養成講習会は、各県独自の開催が可能であり、有資格者の増加を目指す。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	4回	2回	2,746		
事業内容・成果	スポーツ推進委員の資質向上のため、軽スポーツの実技講習会と普通救命講習を行った。また、スポーツ推進委員協議会主催の県、九州地区の研究大会へ委員の派遣を行った。				評価	B
課題・方向性	生涯スポーツの推進から、高齢者の軽スポーツへの関心が高まってきている。そのニーズに応えるためにも軽スポーツへの対応と、万が一のためのAED講習会は継続していく必要がある。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	スポーツ推進委員の資質向上、指導力の向上					
成果指標	スポーツ指導者講習会への派遣回数（年間）					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0回	1回	2回	-		
事業内容・成果	レクリエーション・インストラクター養成のため、長崎県レクリエーション協会が実施する講習会に1名を派遣した。				評価	C
課題・方向性	西海市体育協会との連携も密にし、様々な年齢層、競技層を活性化できる高いレベルの指導者の育成が必要といえる。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	スポーツ指導者の育成					
施策の方向性	「スポーツリーダーバンク制度」の確立					
成果指標	西海市スポーツリーダーバンク登録者数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	0人	0人	15人	-		
事業内容・成果	長崎県にはスポーツリーダーバンク制度はあるが、西海市には未だ制度が確立されていない。				評価	C
課題・方向性	西海市体育協会と連携して、西海市スポーツリーダーバンクを創設し、市内の各種スポーツ関係指導者把握に努め、社会体育を推進するための支援体制を確立する。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	競技力向上を目指した各種講習会等の開催					
成果指標	西海市体育協会加盟団体数					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	18団体	20団体	継続	-		
事業内容・成果	競技団体数は、前年度18団体から20団体へと増加した。				評価	A
課題・方向性	西海市の人口が減少する中で、未加入の競技団体への加入を促進し、競技人口をいかにして持続していくかが課題である。					

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興			所管課	社会教育課	
主要施策	活力あるスポーツの振興					
主要事業	競技スポーツの推進					
施策の方向性	上位大会出場者への支援					
成果指標	県民体育大会参加者数（年間）					
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)		
	240人	258人	300人	-		
事業内容・成果	県民体育大会に、西海市体育協会を通じて258名の選手を派遣した。				評価	A
課題・方向性	西海市体育協会と連携し、競技人口の拡充を図り、競技力の向上を図る。					

重点施策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実			
主要事業	スポーツ施設の整備充実			
施策の方向性	スポーツ施設の整備			
成果指標	体育施設整備進捗率			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	22%	25%	50%	9,997
事業内容・成果	老朽化した大島プールろ過装置の長寿命化を図るため、旧多以良小学校プールのろ過機を大島プールに移設した。このことにより大島プールの水質が良好に保たれることとなった。		評価	A
課題・方向性	旧町より継続した施設が多く、主要施設にしても老朽化が激しく大規模改修を伴う修繕が必要となってきた。限られた予算の中、廃止も含めて体育施設整備計画を見直し、年次計画で整備充実を図る。			

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実			
主要事業	スポーツの推進体制づくり			
施策の方向性	情報提供の充実			
成果指標	スポーツ情報の提供（年間）			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	12回	8回	継続	—
事業内容・成果	市広報に6回、西海市ウェブサイトにて2回掲載を行った。 七釜鍾乳洞ロードレース大会の周知については、レース計測委託業者を通じて専用HPの開設やスポーツ情報サイトにて周知を行った。		評価	B
課題・方向性	広報掲載となると、イベント情報や大会結果の掲載に遅れが生じてしまい旬な情報の周知が難しいため、西海市ウェブサイト上のSaikaiブログ等を使い早めの情報周知に努めていきたい。			

重点政策	地域を支える文化・芸術、スポーツの振興	所管課	社会教育課	
主要施策	スポーツ環境の充実			
主要事業	スポーツの推進体制づくり			
施策の方向性	関係機関との連携強化			
成果指標	スポーツ関係情報交換会開催回数			
	現況値 (H27年度)	H29年度	中間目標値 (H33年度)	決算額 (千円)
	0回/年	1回/年	1回/年	—
事業内容・成果	西海市のスポーツ関係者（指導者、競技者、保護者）に周知を行い、西海市のスポーツの現状について意見交換を行った。小学生社会体育と中学校の部活動等について活発な意見交換が行われ、現状と課題に関する情報の共有化を図った。		評価	A
課題・方向性	当初想定していた一般社会人のスポーツ環境ではなく、小・中学生のスポーツ活動についての話がメインとなった。今後は、学校教育課にも会への参加を要請し、市民の要望に応えられるよう改善を図る必要がある。			